

この声 受け止めよ

官邸前を埋めつくす人の波。
= 6月29日



大飯原発 再稼働反対

毎週金曜の官邸前抗議行動。7月9日には雨の中、日本共産党北区議員団と池内さおり衆院東京12区青年部長、そねはじめ前都議も元気に参加しました。



消費税増税許すな

民主、自民、公明の3党は密室協議をくりかえし、衆院で消費税増税法案の採決を強行しました。くらしも日本経済もどん底に突き落とす増税法案。参院で徹底審議の上、廃案に追い込むために全力をあげます。

日本共産党のやまき直人議員は北区議会第2回定例会（6月19日から29日）代表質問で、消費税増税に反対し、「原発ゼロ」の日本をめざすよう花川区長に迫りました。いま、消費税増税、

原発再稼働、オスプレイ配備、TPP参加など、野田内閣による国民不在の政治に国民の怒りが広がっています。この声と運動をひとつに結び、政治をおもとから変える力にしてゆきましよう。

国民の怒りを 政治変える力に

自衛隊が23区で展開訓練

日本共産党北区議員団が花川区長に申し入れ

7月16日、17日に実施された陸上自衛隊の「災害対処訓練（23区展開訓練）」について、日本共産党北区議員団は7月3日と9日、2回にわたり花川区長に申し入れをおこないました。

訓練の中止求めよ

自衛隊の災害派遣は、自治体の要請によって行



申し入れする党議員団 = 7月3日、北区役所

「災害対処」に名を借りた軍事訓練の恐れも

われるものです。しかし今回は自衛隊単独の訓練です。さらに迷彩服を着用した自衛隊員が市街地を歩き回することは住民に無用な不安を与えます。申し入れでは、自衛隊に訓練中止を求めるよう要請しました。

「宿営」は撤回に

当初、16日夜に区役所駐車場内の自衛隊車両で隊員を宿泊させるとしていた自衛隊側は、党区議団の要請を受けて練馬駐屯地に帰るよう計画を変更。区有施設での「宿営」を撤回させました。



6月12日に練馬・板橋区内でおこなわれた陸上自衛隊レンジャー行進訓練。周辺は一時、騒然となりました。

災害対処訓練とは

陸自第1普通科連隊が首都直下型地震を想定し、「自衛隊統合防災訓練」の一部として300人規模で徒歩移動、地上偵察、無線の中継などを実施した。災害対処を名目にしていますが「まさに首都制圧訓練だ」の指摘も。

- 区内すべての保育園や小・中学校を対象にした**給食の放射線検査**は5月から始まり、随時、北区ホームページで公表中。現在まで、基準を超える放射線は検出されていません。
 - 共産党区議団が求めた**防災無線の総点検**が、いよいよ9月から実施に。
 - **東京電力に対し安易な値上げは行わない**よう指導することを求める意見書（日本共産党提出）が全会一致で可決。
- 6月区議会定例会
区民の願い **実現へ**

区民のくらしを守って全力

北区議会第2回定例会で、日本共産党北区議員団は区民のくらしを守る論戦を展開。積極的な提案で区政を動かし、問題点にはズバリとメスを入れ改善を求めました。

高齢者見守り施策が前進

高齢者あんしんセンターに常勤職員を配置

高齢者の見守り施策は大きく前進しました。

区内13カ所の高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）に常勤の見守りコーディネーターを配置、見守り活動にとりくむ町会自治会には30〜100万円の助成金が交付されることになりました。

いざという時に役立つ緊急医療情報キットや熱中症対策のクールスカーフも必要な方に配られます。



緊急医療情報キット

国保・介護につづき 住民税引き上げ、施設使用料値上げやめよ

「財政厳しい」は破たん 区民負担増に道理なし

特別区民税条例の改悪で、2014年度から10年間、区民税を年額500円引き上げ、都民税と合わせた負担増は年10000円に。日本共産党区議員団は、大企業には17・6兆円も

特別区民税条例の改悪で、2014年度から10年間、区民税を年額500円引き上げ、都民税と合わせた負担増は年10000円に。日本共産党区議員団は、大企業には17・6兆円も

特別区民税条例の改悪で、2014年度から10年間、区民税を年額500円引き上げ、都民税と合わせた負担増は年10000円に。日本共産党区議員団は、大企業には17・6兆円も

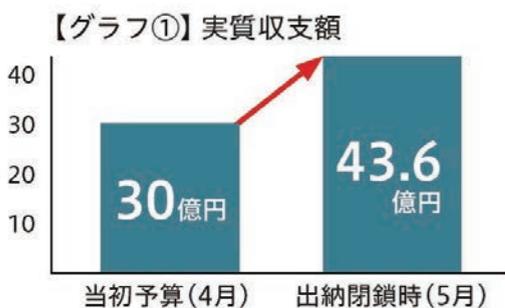
の減税になることを指摘し「復興に名を借りた庶民増税だ」と批判しました。「区民優遇」の名による、北とぴあ、赤羽会館、滝野川会館の区民外使用料の引き上げにも反対しました。

「財政厳しい」は破たん

区民負担増に道理なし

今年度末には「ゼロ」になるとされた財政調整基金（くらし、福祉などに使える区の貯金）は26億円以上の増額に上方修正。前回の定例会で「繰越金を過少に見積もり、財政危機をおお

り、住民要望を抑え込む手法」と、共産党が厳しく指摘した通りになりました。「財政が厳しい」ことを理由にした職員削減や区民のサービス切り捨て、負担増には道理がありません。



※ 5月の出納閉鎖の結果、昨年度の区財政黒字は当初予測の30億から43.6億円に(グラフ①)、今年度末の財調基金残高見込みは0から約26億円(グラフ②)となりました。

ご相談はお気軽に 日本共産党北区議員団 ☎ 3908-7144

宇都宮 章
神谷3-10-8-401
☎ 090-4127-7550

さがらとしこ
赤羽北3-23-17
☎ 3905-0970(事務所)

ながいともこ
浮間3-1-54-302
☎ 080-4429-6338

のの山けん
岩淵町22-31-401
☎ 090-2156-3510

福島 宏紀
豊島5-4-1-615
☎ 090-1206-6925

本田 正則
田端3-4-12-305
☎ 090-9240-8066

八百川 孝
東十条5-1-9-101
☎ 090-6798-2153

やまき直人
滝野川2-34-4-201
☎ 3917-9827

山崎たい子
豊島7-19-10
☎ 090-2160-1292

桐ヶ丘 建替計画



まちづくりは住民本位でこそ

八百川孝議員は地権者・住民にリスクを負わせる37階地上146mの超高層ビル計画は撤回し、十条らしさを生かした計画に変更せよと迫りました。

さがらとしこ議員は、1DKが半数以上の高層住宅では高齢者の安全は守れないと主張。風害、通学路に工事車両が進出する危険性、緑の保全から、計画の見直しを求めました。

十条駅 西口再開発

